

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第6回川島町地域公共交通会議	
開 催 日 時	令和4年3月14日（月）15時30分から16時20分	
開 催 場 所	川島町役場 2階 大会議室	
議 題	(1) 東武バス川島町役場線について (2) かわみんタクシーについて (3) 川島町地域公共交通計画について (4) その他	
公開・非公開の別	公 開（傍聴者0名） ・ 非公開 ・ 一部非公開	
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委員	久保田委員、石島委員、瀬間委員、飯島委員、加藤委員、樽見委員 齊藤委員、藤田委員、小川委員、西野委員、江間委員、岡部委員、 谷島委員、坂本委員
	事務局職員	政策推進課 友野主幹、岩下主査、品川主任
配布資料	会議次第、資料1～5	
審議会等の内容・概要		
<p>1 開 会</p> <p>（事務局より会議の開会にあたり、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議公開は議事より行うこととし、会議録を公開するが、発言委員名は記載しない旨で委員より了承を得る。）</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>会 長：議事に入る前に、議事録署名委員を指名する。瀬間委員、江間委員にお願いする。</p> <p>（1）東武バス川島町役場線について（事務局にて資料1～2を用いて説明。）</p> <p>会 長：特に意見はないようなので、手続き等を遺漏なく進めること。</p>		

(2) かわみんタクシーについて（事務局にて資料3を用いて説明。）

会 長：指定病院の追加はどのように考えているか。

事務局：指定病院の追加の検討は必要と考えており、町外病院の要望があるのであれば、1ヶ所ないし2ヶ所増やすなどの対応を検討したい。今は、2ヶ月分のデータなので、実績が蓄積された段階で公共交通会議の中で増やすべきか追加すべきか、また、他のサービスの方法はないかを議論していきたい。

委 員：医大からの協議会による運行報告のところで、全体で25件利用者がいて、7件だけ利用したということだが、それ以外は普通にかわみんタクシーを呼んで待っていたということか。

事務局：そのとおり。今までどおり、川島タクシーを待って利用されたということである。

会 長：もう少しで蔓延防止が終わりそうだが、3月から4月の利用件数は伸びてくるか。

事務局：伸びてくることは想定されるが、昨年度、イーグルバスに委託契約を結び分析をして試算したが、予想では2割減の予想だった。2割になるように試算していたと思うがそれを上回って下がってきているので、今後もサービス向上が必要かどうかは分析または検討をする必要がある。

会 長：引き続き実績確認をお願いしたい。

(3) 川島町地域公共交通計画について（事務局にて資料4を用いて説明。）

事務局：埼玉運輸支局の方で補足があればお願いしたい。

委 員：スケジュールがタイトなので1年で作成するのは中々難しい。

事務局：前回の網計画も全6回と分科会が4回か5回やっている。なので事務局としてもタイトなスケジュール感は認識しているので本会議で協議しながら滞りなく進めたい。

委 員：かわみんタクシーやバスの議論を行って、そのうえで町民の意見を反映し、これからの5年間を考えないといけない。

事務局：5年間の計画なので、どこまで掲載かは慎重に検討していきたい。

委 員：町民の方の意見については、多様な方の意見が反映できるようにお願いしたい。

事務局：反映できるように検討する。埼玉県交通政策課の方で、県内の策定状況を教えていただきたい。

委員：県内63市町村のうち現時点で20市町村なので3分の1の市町村が策定している状況である。今年度もいくつか策定しているところもあるので、来年度以降少しずつ増えてくる状況である。また、先程埼玉運輸支局の方からも話のあった、パブリックコメントのスケジュールが1月に予定されてるが、場合によっては大きく軌道修正もあるため、なるべく早い段階でアイデア出しをしたほうがよい。

委員：川島町では現行の網形成計画の評価をしたうえで次のステップに入ることになる。また、総動員の具体策はよく聞かれる内容なので、どこまで入れるのか議論することになるため、その辺を意識しながら進めないといけない。

事務局：埼玉県運輸支局と埼玉県交通政策課の方に、県内の市町村の他の計画で自分の自治体の区域を越えて、計画の対象としているところがもしあれば教えていただきたい。

委員：確認しないと分からないが、他の自治体区域を新規に載せることは難しいのではないか。

事務局：もしやるとなると、近隣の公共交通担当の方が、この会議に出席することになるので中々難しいことであるとは思っていた。今回も同じような話が出てきた際は相談させていただきたい。

会長：総動員の話については、6月から議論を始めては調整が間に合わないので、少し前から調整を始めてもよいのではないか。

副会長：総動員とは具体的にどのようなところを対象にしていきたいか。

事務局：担当で考えているのは、工業団地からの企業の送迎バス、病院の送迎バス、スクールバス、自家用有償の送迎車両が現状考えられる地域資源の総動員と考えている。

副会長：福祉車両はまた別の考えになるのか。

委員：総動員の中には入る。地域のレベルに差はあるが、この地域公共交通計画に入れるというのが私の印象では多い。

委員：県のホームページに総動員の事例を掲載している。ヒアリングする際は参考にさせていただきたい。

事務局：事務局が考えた総動員以外に何かあるか。

委員：介護施設の送迎バスも他の市町村でやっているところはある。

(4) その他（事務局にて資料5を用いて説明。）

事務局：委員の任期が3月31日までのため、来年度新たに委嘱をさせていただくことになる。令和4年度に入ってから委員の選出依頼をお送りするので、その際にご協力をお願いしたい。

#### 4 閉 会

署 名	瀬間 さやか 
	江間 裕一 